

---

# 会社説明資料

－ 2024年3月期第2四半期 －

2023年12月

株式会社 **じもとホールディングス**

株式会社 **きらやか銀行**    株式会社 **仙台銀行**

# 目次

## 1. 2024年3月期第2四半期グループ決算の状況

① 決算の概要	…	1
② 資金利益	…	2
③ 貸出金・預金	…	3
④ 有価証券	…	4
⑤ 役務取引等利益	…	5
⑥ 経費、経営効率化	…	6
⑦ 与信関係費用、金融再生法開示債権	…	7
⑧ 自己資本比率、ROE	…	8
⑨ 中期経営計画目標と実績	…	9
⑩ 2024年3月期 業績予想と配当予想	…	10

## 2. 中期経営計画の進捗状況

① 経営理念と目指す姿	…	11
② 本業支援	…	12
③ 業務変革（DX）	…	13
④ 経営管理	…	14
⑤ SBIグループとの主な連携状況	…	15
⑥ グループ業績改善への取組み	…	16
⑦ 2023年度の重点課題	…	19

## 3. じもとグループのサステナビリティ

① サステナビリティ基本方針	…	20
② 本業支援を通じたサステナビリティ	…	21
③ 主要課題への取組み	…	22
④ 人事戦略、投資	…	24
⑤ トピックス（きらやか銀行、仙台銀行）	…	27

---

# 1. 2024年3月期第2四半期 グループ決算の状況

# ① 決算の概要 – 黒字へ転換、HD中間純利益は15億円 –

- 当社グループの**経常収益**は、有価証券利息配当金の減少により資金運用収益が減少したものの、貸倒引当金戻入や役務取引等収益の増加があったことなどから、前年同期比+461百万円の**19,278百万円**となりました。
- **経常利益**は、きらやか銀行において、大口取引先に関連する貸倒引当金計上等の前年度の特異要因がなくなったことなどから、前年同期比+3,278百万円の**2,008百万円**となりました。
- **親会社株主に帰属する中間純利益**は、法人税等調整額が減少したことなどから、前年同期比+5,589百万円の**1,520百万円**となり、黒字へ転換しました。

(単位：百万円)

	連結（一部2行合算）		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2023年9月期	前年同期比	2023年9月期	前年同期比	2023年9月期	前年同期比
<b>経常収益</b>	<b>19,278</b>	<b>461</b>	<b>8,642</b>	<b>△152</b>	<b>7,759</b>	<b>316</b>
業務粗利益	12,885	△620	6,912	△389	5,863	△291
資金利益	11,471	△512	5,887	△380	5,602	△236
役務取引等利益	1,299	20	895	34	280	28
その他業務利益	113	△128	128	△43	△18	△83
うち国債等債券損益 ※	△115	△85	△13	△0	△101	△84
経費（△）	11,240	35	5,822	39	5,131	61
コア業務純益 ※	1,936	△696	1,102	△428	833	△267
<b>コア業務純益（除く投資信託解約損益）</b> ※	<b>1,917</b>	<b>△626</b>	<b>1,102</b>	<b>△428</b>	<b>814</b>	<b>△197</b>
与信関係費用（△） ※	△29	△3,751	274	△3,344	△304	△406
株式等関係損益	109	110	△1	1	111	109
<b>経常利益</b>	<b>2,008</b>	<b>3,278</b>	<b>820</b>	<b>3,058</b>	<b>1,103</b>	<b>138</b>
特別損益	10	502	53	495	△42	7
法人税等合計	491	△1,811	253	△1,740	210	△56
<b>親会社株主に帰属する中間純利益</b>	<b>1,520</b>	<b>5,589</b>	<b>620</b>	<b>5,294</b>	<b>850</b>	<b>202</b>

※きらやか銀行、仙台銀行の2行合算計数です。

## ② 資金利益 – 外債ファンド評価損の抑制を優先、有価証券利息配当金が減少 –

- 貸出金利息は、前年同期比+1.3億円の110.5億円となりました。きらやか銀行は、中小企業向け貸出は増加したものの、シンジケートローン等の大企業向け貸出を減少させており、前年同期比△0.3億円の56.4億円となりました。仙台銀行は、住宅ローンや中小企業向け貸出が増加し、前年同期比+1.6億円の54.0億円となりました。
- 有価証券利息配当金は、前年度の急激な海外金利の上昇に伴い、両行保有の外債ファンド内で一時的に日本国債などの短期債券へ切替を行い、有価証券評価損の抑制を優先したことから、投資信託分配金が減少し、前年同期比△7.3億円の3.6億円となりました。

(単位：億円、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2023年9月期	前年同期比	2023年9月期	前年同期比	2023年9月期	前年同期比
<b>資金利益</b>	<b>114.9</b>	<b>△6.1</b>	<b>58.8</b>	<b>△3.8</b>	<b>56.0</b>	<b>△2.3</b>
貸出金利息	110.5	1.3	56.4	△0.3	54.0	1.6
有価証券利息配当金	<b>3.6</b>	<b>△7.3</b>	2.2	<b>△3.3</b>	1.4	<b>△4.0</b>
預金利息 ※	0.7	0.0	0.5	0.0	0.2	△0.0
<b>平均残高</b>						
貸出金平均残高	<b>18,762</b>	<b>97</b>	9,687	<b>△169</b>	9,075	<b>266</b>
有価証券平均残高	5,308	△121	2,375	△29	2,932	△91
預金平均残高 ※	24,754	△521	12,432	△458	12,322	△63
<b>利回り</b>						
貸出金利回	1.18	0.01	1.17	0.01	1.18	0.00
有価証券利回	0.13	△0.27	0.18	△0.28	0.09	△0.26
預金利回 ※	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	△0.00

※預金には、譲渡性預金も含まれます。

### ③ 貸出金・預金 – 住宅ローンが大幅増、中小企業向け貸出も増加 –

- 2行合算の**貸出金残高**は、コロナ禍の影響を受ける事業者への継続的な資金繰り支援、仙台地区を中心とした住宅ローン需要へ対応し、前年同月末比+291億円の**1兆8,966億円**となりました。
- きらやか銀行は、注力している中小企業向け貸出が増加しましたが、大企業向けシンジケート・ローンなどを減少させたことから、前年同月比△38億円の9,727億円となりました。  
仙台銀行は、スピード対応やオーダーメイド型融資により中小企業向け貸出が増加したことに加えて、住宅ローン需要に積極的に対応したことにより、過去最高の9,239億円となりました。
- 当社グループの**預金残高**は、前年同月末比△440億円の**2兆4,613億円**となりました。

(単位：億円)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2023年9月末	前年同月末比	2023年9月末	前年同月末比	2023年9月末	前年同月末比
<b>貸出金残高</b>	<b>18,966</b>	<b>291</b>	<b>9,727</b>	<b>△38</b>	<b>9,239</b>	<b>330</b>
中小企業向け貸出	10,857	176	5,974	63	4,882	113
消費者ローン	5,896	<b>347</b>	2,448	△5	3,448	<b>352</b>
うち住宅ローン	5,472	321	2,297	△12	3,175	334
地方公共団体向け貸出	872	△90	215	△23	657	△67
<b>預金残高（譲渡性預金含む）</b>	<b>24,613</b>	<b>△440</b>	<b>12,279</b>	<b>△372</b>	<b>12,334</b>	<b>△67</b>
個人預金	15,618	△571	8,170	△502	7,447	△68
法人預金	6,447	122	3,670	117	2,777	4
公金預金	2,504	15	419	11	2,085	3

## ④ 有価証券 – その他有価証券の評価損益は前年度と同水準で推移 –

- 2行合算の有価証券残高は、その他証券が減少したことから、前年同月末比△142億円の**4,938億円**となりました。
- きらやか銀行と仙台銀行は、SBIグループと連携し、北米地域や欧州地域の国債・地方債など、信用力の高い外債ファンドを保有しております。前年度、海外金利の急激な上昇により**その他有価証券の評価損**が拡大しており、**△322億円（2行合算）**の同水準で推移しました。このため、両行は評価損のさらなる拡大を抑制するため、一時的にファンド内で日本国債などの短期の債券へ切り替えを行っております。
- 今後も、SBIグループと連携し、再度、ファンド内にて信用力の高い海外債券（北米、欧州地域の国債等）に投資を行い、その収益の一部を評価損の解消に順次充当することで、中長期的な解消に取り組んでまいります。

（単位：億円）

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2023年9月末	前年同月末比	2023年9月末	前年同月末比	2023年9月末	前年同月末比
<b>有価証券残高</b>	<b>4,938</b>	<b>△142</b>	<b>2,182</b>	<b>△27</b>	<b>2,756</b>	<b>△114</b>
国債	51	3	0	0	51	3
地方債	434	0	69	△6	365	7
社債	752	31	386	△20	366	51
株式	87	4	66	1	21	3
<b>その他証券（海外債券：国債・地方債等）</b>	<b>3,612</b>	<b>△182</b>	<b>1,660</b>	<b>△1</b>	<b>1,952</b>	<b>△180</b>
<b>その他有価証券の評価損益</b>	<b>△322</b>	<b>△10</b>	<b>△182</b>	<b>△9</b>	<b>△139</b>	<b>△1</b>
株式	8	5	3	1	4	4
債券	△21	△10	△15	△7	△5	△2
その他	△309	△6	△171	△2	△138	△3

## ⑤ 役務取引等利益 – SBIマネープラザ手数料、私募債発行手数料が増加 –

- 2行合算の役務取引等利益は、前年同期比+63百万円の**1,175百万円**となりました。
- 預かり資産手数料は、生命保険販売手数料が減少しましたが、SBIマネープラザ手数料が増加しました。
- 法人向け手数料は、私募債発行手数料が増加しました。

(単位：百万円、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2023年9月期	前年同期比	2023年9月期	前年同期比	2023年9月期	前年同期比
<b>役務取引等利益</b>	<b>1,175</b>	<b>63</b>	<b>895</b>	<b>34</b>	<b>280</b>	<b>28</b>
<b>役務取引等収益</b>	<b>3,163</b>	<b>137</b>	<b>1,656</b>	<b>37</b>	<b>1,506</b>	<b>100</b>
受入為替手数料	696	△20	382	△12	313	△7
預かり資産手数料	730	2	298	△10	432	13
（うち 投資信託販売手数料）	76	20	33	19	43	0
（うち SBIマネープラザ手数料）	86	29	41	13	45	16
（うち 生命保険販売手数料）	523	△48	223	△43	300	△5
法人向け手数料	402	28	238	△36	164	65
（うち 私募債発行手数料）	53	18	38	13	15	4
（うち 業務提携手数料）	90	△1	19	△13	70	12
（うち 定額サービス手数料）	206	△34	180	△35	25	1
その他	1,333	126	737	96	596	30
<b>役務取引等費用</b>	<b>1,988</b>	<b>74</b>	<b>761</b>	<b>2</b>	<b>1,226</b>	<b>71</b>
支払為替手数料	170	2	120	3	50	△1
個人ローン保証料	760	5	170	△10	590	16
その他（住宅ローン団体生命保険料等）	1,057	66	471	10	586	56



## ⑥ 経費、経営効率化 – 「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」 –

- 当社グループは、経営効率化に向けて「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で推進しております。2行合算の経費は、人件費が減少したものの、物件費および税金が増加し、**前年同期比+101百万円**の10,954百万円となりました。
- 「店舗戦略」については、両行が店舗内店舗方式（ブランチ・イン・ブランチ）による統廃合を進め、当期は9カ店を実施しています。両行合算の実質店舗数は87カ店となっております。
- 「人員戦略」については、「店舗戦略」や「業務効率化・DX」による創出人員を営業担当へ再配置しております。一方で、全体の人員数は両行合算で前年同期比△83名となりました。これにより人件費は、前年同期比△83百万円となっております。
- コアOHRは、経費が増加し、有価証券利息配当金の減少等により資金利益が減少したことにより、前年同期比4.50ポイント上昇し、84.97%となりました。

(単位：百万円、店舗、人、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2023年9月期	前年同期比	2023年9月期	前年同期比	2023年9月期	前年同期比
<b>経費</b>	<b>10,954</b>	<b>101</b>	<b>5,822</b>	<b>39</b>	<b>5,131</b>	<b>61</b>
人件費	5,236	△83	2,696	△124	2,539	41
物件費	4,729	116	2,558	70	2,171	46
税金	988	68	567	94	421	△26
<b>店舗数</b> (ブランチ・イン・ブランチ形式での実質店舗数)	87	△15	40	△13	47	△2
<b>人員数</b>	1,390	△83	699	△66	691	△17
<b>コアOHR</b>	84.97	4.50	84.07	5.02	86.02	3.87

## 与信関係費用、金融再生法開示債権 – 貸倒引当金繰入額が減少 –

- 2行合算の与信関係費用は、きらやか銀行において貸倒引当金繰入額が減少、仙台銀行においても貸倒引当金戻入益を計上したことなどから、前年同期比△3,751百万円の△29百万円となりました。
- 金融再生法開示債権残高は、前年同期比+16,801百万円の74,460百万円。不良債権比率は、3.84%となりました。

(単位：百万円、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2023年9月期	前年同期比	2023年9月期	前年同期比	2023年9月期	前年同期比
	<b>与信関係費用</b>	<b>△29</b>	<b>△3,751</b>	<b>274</b>	<b>△3,344</b>	<b>△304</b>
内一般貸倒引当金繰入額	-	△652	-	△652	-	-
内個別貸倒引当金繰入額	-	△2,863	-	△2,863	-	-
<b>金融再生法開示債権残高</b>	<b>74,460</b>	<b>16,801</b>	<b>43,478</b>	<b>13,305</b>	<b>30,982</b>	<b>3,496</b>
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,250	△394	4,646	△269	1,604	△125
危険債権	62,233	18,502	36,300	14,726	25,932	3,775
要管理債権	5,977	△1,306	2,530	△1,152	3,446	△153
<b>不良債権比率</b>	<b>3.84</b>	<b>0.82</b>	<b>4.34</b>	<b>1.34</b>	<b>3.31</b>	<b>0.26</b>

(単位：百万円、%)

	2行合算			きらやか銀行			仙台銀行		
	債権額	保全額	保全率	債権額	保全額	保全率	債権額	保全額	保全率
	<b>金融再生法開示債権の保全</b>	<b>74,460</b>	<b>57,818</b>	<b>77.64</b>	<b>43,478</b>	<b>28,976</b>	<b>66.64</b>	<b>30,982</b>	<b>28,842</b>
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,250	6,250	100.00	4,646	4,646	100.00	1,604	1,604	100.00
危険債権	62,233	48,849	78.49	36,300	23,735	65.38	25,932	25,114	96.84
要管理債権	5,977	2,717	45.46	2,530	594	23.48	3,446	2,123	61.60

## ⑧ 自己資本比率、ROE - 連結自己資本比率 8.93% -

- 連結自己資本比率は、リスク・アセット（分母）が増加したものの、コロナ特例公的資金の導入により自己資本（分子）が増加したことで、前年同月末比0.84ポイント上昇し、**8.93%**となりました。
- ROEは、黒字決算に回復したことから、中間純利益ベースで前年同期比+10.56ポイントの2.82%となりました。

(単位：百万円、%)

	連結		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2023年9月末	前年同月末比	2023年9月末	前年同月末比	2023年9月末	前年同月末比
自己資本	126,292	14,654	74,120	14,303	52,957	271
リスク・アセット等	1,413,742	34,792	728,911	4,561	680,483	30,746
自己資本比率	<b>8.93</b>	<b>0.84</b>	<b>10.16</b>	<b>1.91</b>	<b>7.78</b>	<b>△0.32</b>

(単位：%)

	2行合算		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2023年9月期	前年同期比	2023年9月期	前年同期比	2023年9月期	前年同期比
ROE（業務純益ベース）	3.49	△0.26	4.33	0.93	2.71	△1.37
ROE（中間純利益ベース）	<b>2.82</b>	<b>10.56</b>	<b>2.47</b>	<b>20.82</b>	<b>3.15</b>	<b>0.71</b>

## ⑨ 中期経営計画目標と実績 – 目標と乖離、業績回復への改善策を継続実施 –

- 当社グループは、有価証券利息配当金の減少などにより、グループ中期経営計画（2021年4月～2024年3月）の進捗は当初目標に対して乖離が生じております。
- この状況を踏まえ、当社グループは、2022年9月2日付で「業績回復への取組み」、2023年4月28日付で「追加改善策」を公表しております。今後も各改善策を徹底して実行することにより、早期の業績回復につなげてまいります（詳細はP16～P18をご覧ください）。

（単位：億円、％）

	連結		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2024年3月期 計画	2023年9月期 実績	2024年3月期 計画	2023年9月期 実績	2024年3月期 計画	2023年9月期 実績
コア業務純益 ※1	71	<b>17</b>	38	<b>11</b>	36	<b>8</b>
経常利益	59	<b>20</b>	26	<b>8</b>	31	<b>11</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	45	<b>15</b>	22	<b>6</b>	23	<b>8</b>
貸出金平残	18,936	<b>18,762</b>	10,031	<b>9,687</b>	8,905	<b>9,075</b>
預金平残	25,151	<b>24,754</b>	12,754	<b>12,432</b>	12,396	<b>12,322</b>
自己資本比率	8.2程度	<b>8.93</b>	8.4程度	<b>10.16</b>	8.0程度	<b>7.78</b>
コアOHR ※2	75.8	<b>86.1</b>	75.1	<b>84.0</b>	73.6	<b>86.0</b>
ROE	3.3	<b>2.8</b>	3.2	<b>2.4</b>	3.9	<b>3.1</b>
顧客向けサービス業務利益 （2行合算） ※3	28	<b>14</b>	14	<b>7</b>	14	<b>6</b>

※1、2 投資信託解約益等（投資信託解約益＋債権売却益）を除く。

※3 顧客向けサービス業務利益 = 貸出金残高 × 預貸金利回差 + 役務取引等利益 - 営業経費。2行合算としております。

## ⑩ 2024年3月期 業績予想と配当予想

- 連結業績予想（2024年3月期）は、経常利益16億円、親会社株主に帰属する当期純利益17億円を見込んでおります。
- 年間配当金（2024年3月期）は、普通株式1株あたり10円00銭（前年比△2円50銭）を予定しております。  
配当方針として、コロナ禍の影響を受ける取引先支援のため、財務基盤の強化に向けて内部留保の充実を優先させていただくものです。また、業績予想に連動して年間配当水準を予想していることから、中間配当を見送り、期末配当に一本化いたします。

### <業績予想>

（単位：百万円）

	連結		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2024年3月期 予想	2023年3月期 実績（参考）	2024年3月期 予想	2023年3月期 実績（参考）	2024年3月期 予想	2023年3月期 実績（参考）
経常利益	1,600	△4,297	100	△5,921	1,400	1,491
親会社株主に帰属する当期純利益	1,700	△7,082	700	△8,334	1,000	1,157

### <普通株式・配当予想>

（単位：円、1株あたり）

	中間	期末	年間
2024年3月期	0円00銭	10円00銭	10円00銭
2023年3月期（参考）	7円50銭	5円00銭	12円50銭

---

## 2. 中期経営計画の進捗状況

# ① 経営理念と目指す姿

- 当社グループの経営理念は、「宮城と山形をつなぎ、本業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」ことです。
- 中期経営計画（2021年～2023年）では、コロナ禍の対応を重要課題とし、次の5年・10年後も見据えて「本業支援の深化」「業務変革（DX）」「経営管理」を計画の3本柱としております。
- 当社グループは、本計画を通じて、これまで以上にお取引先の業況改善や地域発展に貢献することで、当社グループの収益改善にもつなげる「共通価値の創造」を実現すべく取り組んでおります。



## ② 本業支援

- コロナ禍の影響が中長期化するなか、中小企業支援の実効性向上と融資増強に向けて、営業戦略、本部・店舗再編など、支援体制の抜本的な改革を進めております。
- 当社グループの最重点エリアである仙台地区においては、営業人員を投入し、既存取引先のグリップと新規開拓にさらに傾注。地元企業の資金ニーズに積極的かつ迅速に対応しております。
- ビジネスマッチングは、コロナ禍の影響で対面の商談会が減少。ECサイトでのビジネスマッチングなど新たな手法を導入しております。

### 中小企業成長戦略の深化

#### きらやか銀行

#### 預金・貸出業務を軸とする営業戦略

- ◆ 金融仲介機能のさらなる強化
- ◆ コロナ影響先に対する支援

コロナ影響先への抜本的な経営改善・事業再生支援

#### 仙台銀行

#### スピード対応、オーダーメイド融資による基盤強化

- ◆ コンサルティング
- ◆ 事業再生支援

事業計画書策定支援、SDGs取組支援、DX化などの支援メニューを提供

### 仙台地区営業戦略

#### 中小企業貸出平均残高

2023年度上期	4,827億円
対前年同月末比	増加 77億円
伸び率	1.6%

両子銀行協調、紹介案件への対応

新規開拓  
メイン化営業の展開

### ビジネスマッチング

#### 宮城と山形をつなぐ

紹介実績	78件 (前年同期比△34件)
成約実績	11件 (前年同期比 +8件)

じもとまつり開催（山形市と連携）

#### 電子地域通貨・企業版ふるさと納税

電子地域通貨	山形市、宮城県大崎市
企業版ふるさと納税	利府町、多賀城市、登米市

引続き、地公体との連携を拡大



### ③ 業務変革（DX）

- 当社グループは、コロナ禍による社会経済の変化、急速なDXの進展などの環境変化に応じた、スピード感ある業務変革を重要課題としております。
- 「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で進め、経営資源を効率的に再配分し、営業体制の増強につなげております。また、SBIグループの知見やノウハウも積極活用し、新たな金融サービスの提供や業務の再構築に取り組んでおります。

#### 「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で推進

##### 店舗戦略

###### 【店舗網の見直し 2023年度】

計画的な店舗統合による合理化  
中小企業支援の人員を創出

###### 店舗再編(2023年度上期)

- きらやか銀行 8店舗
- 仙台銀行 1店舗

9店舗

###### 店舗建替

- 仙台銀行 長町支店  
(2024年春頃完成予定)

1店舗

##### 業務効率化・DX

SBI共通ATMへの更改

きらやか銀行リテール業務を  
SBI・仙台銀行連携で再構築  
(個人ローン、ネット預金、  
アパートローンなど)

バンキングアプリ利便性向上  
(各種機能の改善、拡充)

各種業務のペーパーレス化

本部業務プロセスの再構築

##### 人員戦略

「店舗戦略」「業務効率化・DX」  
による創出人員を営業担当へ  
順次再配置

SBIビッグデータを活用した人員  
再配置の試算を開始

女性・若手職員の営業力を強化、  
グループ内で育成ノウハウを共有

SBIグループ連携の積極活用

## ④ 経営管理

- 前年度における大口取引先の破たんに伴う赤字決算を踏まえて、子銀行の信用リスク管理への関与を強化し、社外取締役の知見を活用しながら、ガバナンス態勢の強化と実効性向上に取り組んでおります。
- 多様な人材が活躍できる職場環境を目指して、働き方改革や人材育成の取り組みを積極的に進めております。また、SBIグループへ当社グループの若手職員を派遣し、有価証券運用管理、DX・IT、M&A分野等において人事交流を拡大しております。

### 経営管理態勢の高度化

#### リスク管理態勢の強化

信用リスク管理、有価証券運用などHD関与を深め、グループ管理を強化。

#### 社外取締役の知見活用

本部職員との面談、営業店訪問を実施。社外取締役の知見をさらに活用し、グループ重要課題の協議を拡充。

#### 営業体制の統一

子銀行の営業組織を再編・統一化。ノウハウ共有と効率化をさらに進展。

### 新しい働き方・人材育成

#### 女性・若手職員の活躍推進

女性リーダー育成研修開催。

#### 子育て支援

育児休暇取得者の職場復帰を支援、WEBフォローアップセミナー開催。「産後パパ育休」創設。

#### ワーク・ライフ・バランス

適正な勤務時間管理を実施。

#### 人権尊重の啓蒙

ハラスメント研修の実施。

#### DX人材育成

「ITパスポート」取得を支援。

### ESG / SDGs

#### サステナビリティ

- ◆サステナブルファイナンスを強化（商工中金との連携・協力等）。
- ◆TCFD提言への賛同を表明。

### 次世代へ向けた人事交流

#### SBIグループ

- ◆SBIグループへ職員をトレーニー派遣（有価証券、DX・IT、M&A等）。
- ◆SBIマネープラザ共同運用を通じて、職員交流、ノウハウ吸収。

## ⑤ SBIグループとの主な連携状況

- 当社グループは、SBIグループとの連携を積極活用し、本業支援、業務変革、経営管理、人材育成の各分野で提携効果を発揮しております。
- 2023年9月、SBIグループによる追加資本参加を決定いたしました。今後、SBIグループとの更なる連携により、当社グループの中長期的な企業価値の向上、営業基盤である宮城と山形の地域創生につなげてまいります。

### SBIグループとの主な提携実績

#### 法人戦略

- ◆無料ECサイト構築支援
- ◆電子稟議ワークフロー導入支援
- ◆事業性ローン団信取扱
- ◆DX関連オンラインセミナー開催
- ◆助成金、補助金申請支援
- ◆DXデータベース
- ◆トレーサビリティサービスの提供

#### 地方自治体支援

- ◆地域通貨(プレミアム商品券)の電子化
- ◆企業版ふるさと納税

#### 個人戦略

- ◆住宅ローン団信
- ◆がん保険
- ◆銀行代理業による住宅ローン
- ◆個人版確定拠出年金
- ◆投資信託商品
- ◆投資用不動産事業に係るアパートローン

#### ガバナンス

- ◆SBIより社外取締役1名が就任  
※きらやか銀行取締役(非業務執行)を兼任
- ◆SBIよりオブザーバー2名が会議参加



#### コスト削減

- ◆SBI共通ATMへの更改
- ◆じもとHD役員賠償責任保険見直し
- ◆SBIビジネス・イノベーターのノウハウ活用

#### 有価証券運用

- ◆子銀行有価証券ポートフォリオ再構築

#### SBIマネープラザ

- ◆共同店舗運営、資産運用提案の向上
- ◆相続に係るコンサルティング業務の強化

#### 人材トレーニー派遣

- ◆SBIネオファイナンシャルサービスーズ(FinTech)
- ◆SBIアセットマネジメント(有価証券運用・管理)
- ◆SBI証券(M&A)
- ◆SBIホールディングス社長室ビッグデータ担当(AI・DX)

#### ファンド出資

- ◆SBIインベストメント組成ファンド出資

## ⑥ グループ業績改善への取組み（じもとホールディングス）

- じもとホールディングスは、前年度の赤字決算を踏まえ、リスク管理態勢の強化、営業組織の統一と集約、SBI連携によるDX推進を通じて、子銀行の経営管理へさらに関与を強め、グループ全体の業績改善を牽引しております。

### 強いリーダーシップでグループを牽引

#### 営業体制

##### 法人営業体制の統一

- ◆ グループが特化する業務（中小企業支援）の明確化、経営資源の集中
  - ◆ 審査ノウハウの共有、グループ内での効率化
  - ◆ SBIグループ及びSBI新生銀行との連携深化
- 主力分野の中小企業支援体制を強化

##### 個人営業企画の共有

- ◆ グループ内で推進ノウハウを集約し共有
  - ◆ SBIグループとの連携による企画の立案や商品・サービスの開発
- 両行の個人営業対応力の向上と商品ラインナップの拡充

#### リスク管理

##### 信用リスク

- ◆ 適切で計画的な引当金管理
  - ◆ コロナ禍の影響を受けている事業者の現況把握、経営改善支援
  - ◆ 温泉旅館業や観光サービス業の再生に向けたリスクテイク
- コロナ禍を踏まえた信用リスク管理強化

##### 市場リスク

- ◆ リスク許容度の再設定
  - ◆ 管理指標の追加による実効性のあるモニタリング体制の確立
  - ◆ SBIグループとの双方向のリスクコミュニケーション
- 有価証券ポートフォリオの再構築における市場リスク管理強化

#### DX（SBI連携）

##### SBI共通ATM

- ◆ SBIグループ提供の共通ATMへの更改
  - ◆ 2024年3月にかけて順次実施
- グループ全体でコスト削減の見通し

##### バンキングアプリ

- ◆ アプリ機能の随時追加、生体認証によるセキュリティの強化
  - ◆ AIマーケティングの実現
- 取扱サービスの拡充、利便性の向上

## ⑥ グループ業績改善への取組み（きらやか銀行）

- きらやか銀行は、中小企業支援により特化し、コロナ禍の影響を受ける地元中小企業にさらに寄り添い、貢献する態勢を再構築するため、営業戦略の見直し、店舗網等の再編、企業支援体制や貸出審査体制の強化など、抜本的改革に取り組んでおります。
- 併せて、経営体質強化のため、役員体制の見直し、抜本的な経費削減、有価証券運用態勢の再構築に取り組んでおり、じもとグループ及びSBIグループとの連携を強化することで、早期の業績回復と経営安定化を実現してまいります。

目指す姿

「中小企業支援」に特化

－ 真に顧客に寄り添い、本来の金融仲介機能を発揮 －

### 中小企業支援への傾注

- ◆営業戦略見直し
- ◆本部組織再編
- ◆店舗網見直し

### 企業支援体制の強化

- ◆事業再生部署・企業支援部の強化
- ◆地元企業へ当行職員派遣支援

### 貸出審査体制の強化

- ◆融資部人員の増加
- ◆事案を踏まえた財務分析ポイントの修正

### 役員体制の見直し

- ◆役員数の大幅削減、報酬削減
- ◆意思決定と施策実行の迅速化
- ◆SBIグループから役員派遣

### 抜本的な経費削減

- ◆硬式野球部の無期限休部
- ◆物件費の削減

### 有価証券運用の再構築

- ◆ポートフォリオ再構築
- ◆運用収益の一部を評価損へ充当  
中長期的な評価損解消へ

## ⑥ グループ業績改善への取組み（仙台銀行）

- 仙台銀行は、トライアングル戦略（本業支援、業務変革、経営管理）に更に磨きをかけ、顧客ニーズにスピーディーに対応することで、経営基盤の強化につなげております。また、有価証券運用態勢の再構築により、有価証券評価損の解消に努めております。

### トライアングル戦略を磨き上げ、経営基盤を強化

#### コア戦略の更なる推進

- ◆ スピード対応による顧客基盤強化
- ◆ オーダーメイド型融資による多様な資金ニーズへの対応
- ◆ チャンネルの拡充、強化による顧客ニーズへの対応

#### 複合取引の拡充

- ◆ SDGs取組支援サービスの体制強化
- ◆ SBI連携による資産運用・相続対応強化

#### 経費削減

- ◆ 業務プロセス見直しを伴う効率化

#### 有価証券運用態勢の再構築

- ◆ ファンド内で短期債への切替、評価損拡大を抑制済
- ◆ 今後、ファンド内で再投資を実施
- ◆ 運用収益一部を評価損の中長期的な回復へ順次充当

#### トライアングル戦略

効率化・選択と集中

IT・FinTechの活用  
新分野への取組み

コア戦略の推進  
中小企業向け貸出増強

➤ 金融仲介機能の更なる発揮

#### 共通価値の創造

- ◆ 取引先や地域社会の持続的な発展
- ◆ 仙台銀行、グループの企業価値向上

## ⑦ 2023年度の重点課題（黒字回復、コロナ特例公的資金、SBI連携強化）

- 2023年度の最重点課題は「黒字決算へ回復」であり、SBIグループの追加支援策も含め、業績回復への各施策を通じ、当グループの経営改善を着実に進めております。
- コロナ特例公的資金は、9月1日に国の承認をいただき、払込が9月29日に完了いたしました。新型コロナウイルス感染症等の影響を受けた中小事業者への支援を継続的に推進し、円滑な資金供給や事業再生支援などに取り組んでまいります。

重点課題	2023年度の対応	2023年度上期の進捗状況
① 黒字決算へ回復	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆貸出金業務へ再注力、収益力アップ</li> <li>◆SBIポート再投資へ継続対応（SBI連携）</li> <li>◆経費全般の削減（店舗・物件等）など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与信関係費用、法人税等調整額の減少などにより、黒字決算へ回復</li> <li>・有価証券評価損は前年度と同水準で推移</li> </ul>
② コロナ特例公的資金	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆コロナ特例公的資金申請への的確な対応</li> <li>◆SBIグループ連携の再強化</li> <li>◆自己資本比率規制対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月29日にコロナ特例公的資金の払込が完了</li> <li>・SBIグループによる追加資本参加が決定</li> <li>・新たな自己資本比率規制への対応を実施</li> </ul>
③ リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆コロナ支援先の業況改善への貢献状況を管理</li> <li>◆SBIグループと連携、有価証券運用体制を再構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信用リスク、有価証券リスクの管理強化</li> <li>・日常モニタリングをグループ全体で強化</li> </ul>
④ 株 価 対 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆会社説明資料等の開示情報の拡充</li> <li>◆「グループ業績回復への取組み」を徹底</li> <li>◆次期中期経営計画に向けた資本コスト等の協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期中期経営計画に向けた協議着手</li> </ul>
⑤ ESG/SDGs	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆サステナブルファイナンスに積極対応</li> <li>◆気候変動リスク対応</li> <li>◆女性管理職比率15%目標対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サステナブルファイナンスの取組みを強化</li> <li>・TCFD提言への賛同表明</li> <li>・女性管理職比率 きらやか：9.9% 仙台：16.1%</li> </ul>
⑥ 人 的 資 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆若手/女性渉外の営業力強化</li> <li>◆人権尊重の啓蒙、実践</li> <li>◆SBIグループとの人材トレーニー交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手/女性渉外の早期戦力化、育成ノウハウの共有</li> <li>・店舗再編等による営業人員の創出、再配置</li> <li>・SBIグループとの人材トレーニー交流の継続</li> </ul>

---

## 3. じもとグループのサステナビリティ (サステナビリティ活動報告)



# ① サステナビリティ基本方針

- 当社グループは、2021年12月に「サステナビリティ基本方針」を制定、2022年4月に「サステナビリティ推進グループ」を設置しました。
- 持続可能な社会の実現に向けて、役員研修や支店長会議でグループ方針を周知し、本業支援と各主要課題に取り組んでおります。

## サステナビリティ基本方針

じもとグループは、地域金融グループとして「宮城と山形をつなぎ、本業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」ことを経営理念としております。

この経営理念に基づく事業活動を通じて、取引先や地域社会の持続可能な発展に貢献し、併せて、当社グループの中長期的な企業価値の向上にもつなげていく「共通価値の創造」の実現を目指してまいります。

1. じもとグループは、「本業支援」を通じて、宮城県と山形県の地元中小企業が直面する、地域経済の縮小、人口の減少・高齢化、後継者問題などの中長期的な課題への対応、業況の改善に取り組んでまいります。
2. じもとグループは、環境問題、職員の健康・労働環境の改善や公正・適切な処遇、人権尊重、東日本大震災の被災経験等を踏まえた危機管理などに取り組んでまいります。
3. じもとグループは、国連が提唱するSDGsの趣旨に賛同し、持続可能な地域社会の実現に向けて、外部連携も活用しながら、社会的な課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

**本業支援を通じた取引先への取組み**  
(金融機関としてなすべきこと)

**主要課題への取組み**  
(上場企業としてなすべきこと)

取引先や地域社会の持続可能な発展に貢献  
当社グループの収益改善

**「共通価値の創造」**の実現へ

## ② 本業支援を通じたサステナビリティ

- 当社グループは、本業支援を通じて、地元中小企業や地域の中長期的な課題の解決に対応。取引先や地域社会の持続的な発展に貢献することで、当社グループの企業価値を向上させてまいります。

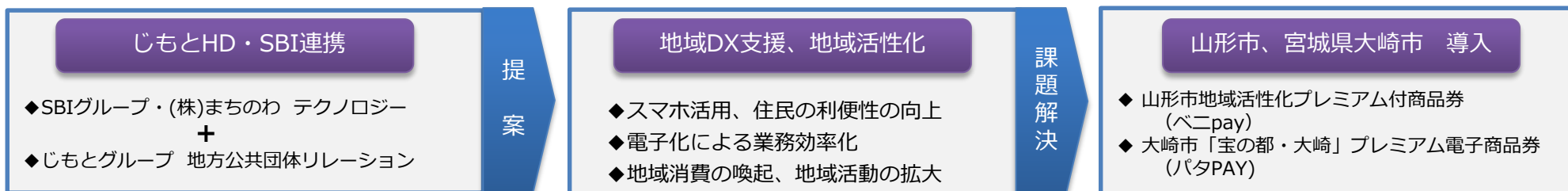
### <中小企業や地域の中長期的な課題>



### <課題解決への取組み>

コロナ禍の影響	地域経済の縮小	人口の減少・高齢化	後継者問題
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆取引先への訪問、面談の徹底</li> <li>◆スピード重視の資金繰り支援</li> <li>◆事業再構築補助金の申請支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆県境を越えた新たな商機創出</li> <li>◆地公体へ電子地域通貨支援</li> <li>◆サステナブル関連融資・投融資方針</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中小企業のデジタル化支援</li> <li>◆企業主導型保育施設の設置</li> <li>◆外国人技能実習生の受入れ支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆次世代の地域経営者の育成</li> <li>◆経営人材の紹介、婚活支援</li> <li>◆事業承継・M&amp;A支援</li> </ul>

### <地公体へ電子通貨支援>



### ③ 主要課題への取組み

- 当社グループは、上場企業、地域企業として取り組むべき、サステナビリティの5つの課題を設定して取り組んでおります。
- 従業員や取引先など、多様なステークホルダーとの良好な関係を構築することを通じて、持続可能な社会の実現を目指しております。

#### 主要課題 1 気候変動などの地球環境問題

項目	取組み状況
電力消費量削減	【削減実績】 △179千kwh ※2022年9月末対比
照明設備のLED化	【実施率】 67.4%（86カ店のうち58カ店で実施） ※2023年9月末現在
通年輕装勤務（クールビズ／ウォームビズ）の導入	じもとHD、きらやか銀行、仙台銀行の3社とも導入済
気候変動リスクへの対応	外部説明会の受講等による情報収集

#### 主要課題 2 人権の尊重

項目	取組み状況
通報相談窓口等の体制整備	内部通報窓口、ハラスメントに係る相談窓口を設置。通報先に外部弁護士を追加。ハラスメント事案の発生防止、早期発見に取り組んでおります。
研修を通じた職員への啓蒙	職場でのハラスメント予防、コンプライアンスの各種研修を実施しております。 【きらやか銀行】 コンプライアンス研修2回／管理職対象研修3回／職場研修3回 【仙台銀行】 管理職対象研修1回／次長課長補佐対象研修1回／職場研修6回 ※期間：2023年4月～2023年9月

### ③ 主要課題への取組み

#### 主要課題 3 従業員の健康・労働環境への配慮や公正・適切な処遇

項目	取組み状況
健康・労働環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外労働時間の削減、勤務間インターバル制度、有給休暇の取得推進など、ワークライフバランスの実現に向けて勤務時間の適正な運用管理を実施しております。</li> <li>健康診断とストレスチェック（各年1回）、産業医・保健師等の相談窓口により、職員の心身の健康管理を実施しております。</li> </ul>
公正・適切な処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員毎の目標管理、能力考課を柱とした人事考課制度を運用。</li> <li>併せて、職員の自発的な能力開発に向けたサポート体制を整備しております。</li> </ul>

#### 主要課題 4 取引先との公正・適正な取引

項目	取組み状況
規程や担当部署等の体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンスマニュアル、利益相反管理方針等の制定（守秘義務、説明義務・適合性の原則、苦情・相談・トラブルへの対応、善管注意義務と顧客財産保護、顧客との癒着排除等）</li> <li>コンプライアンス委員会でのルール遵守状況チェック、問題事案への対応</li> <li>苦情受付窓口の設置</li> </ul>
研修を通じた職員への啓蒙	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンスプログラム、コンプライアンス研修の実施</li> </ul>

#### 主要課題 5 自然災害等への危機管理

項目	取組み状況
事業継続体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業継続計画（地震発生、大規模災害、感染症発生時）を策定し、定期的に災害訓練を実施しています（年2回）。</li> <li>営業店への自家発電装置、止水板の設置など、災害に強い設備を整備しています。</li> </ul>
災害発生時の業務運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生時の銀行取引の特例措置への迅速な対応（現金払出し、小切手・手形決済、喪失通帳の再発行、各種手数料の減免等）</li> </ul>

## ④ 人事戦略、投資

### 人材育成の取組み

- 当社グループは、銀行業務の拡大や働き方改革が進展する中、様々な選択肢をもった人事制度を構築し、性別や採用経緯等に関わりなく、多様な人材が活躍し、能力を発揮できるよう人材育成に取り組んでおります。
- 研修受講やSBIグループとの人事交流については、公募制を導入するなど、職員に対して均等な教育機会を提供しております。

人材育成	取組み状況
能力開発	階層別研修、本業支援実践力行内認定資格制度、行内FPスクール
女性の活躍促進	女性渉外の営業力強化・早期戦力化に向けた研修を両行で共催
外部連携	SBIグループとの人事交流の実施（有価証券運用、DX、M&A、ビッグデータ・AIヘトレーニー派遣）

	管理職に占める女性職員割合 (2023年10月1日現在)	正職員に占める 女性職員割合	新規採用職員に占める 女性職員割合
きらやか銀行	<b>9.9</b> % (12名/121名)	42.6% (316名/742名)	53.3% (8名/15名)
仙台銀行	<b>16.1</b> % (19名/118名)	47.1% (343名/729名)	64.0% (16名/25名)

目標：15%以上（2026年3月末）

<参考> 当社グループの女性役員は2名（うち社外取締役1名）となっております。  
 ・じもとホールディングス社外取締役監査等委員：1名  
 ・仙台銀行取締役監査等委員：1名

## ④ 人事戦略、投資

### 社内環境整備の取組み

- 当社グループは、少子高齢化、コロナ禍による社会経済の急変、DXの進展、新業務の拡大など環境変化が進展する中、スピード感をもって業務変革に取り組んでまいります。
- これらの環境変化に対応するためには、性別等に関わりなく、働き甲斐と働きやすさ、自己実現ができる環境を整備することが必要であり、当社グループは、「育児や介護との両立支援」や「新たな働き方・人材育成」の環境整備を進めております。

育児・介護の支援	取組み状況
休業制度等	育児休業、介護休業、短時間勤務の支援制度を完備 不妊治療及びがん治療に使用できる「ヘルスサポート休業制度」の導入
社会全体での子育て支援	育児休業の取得を促進（男性職員の取得も推奨）
育児休業者へのフォロー	フォローアップセミナーの開催、職場復帰事前面談・研修の開催
職場への復帰支援	企業主導型保育施設の設置、企業主導型保育事業者との保育園利用提携
勤務エリア	居住地から通勤可能な範囲での転勤に限定できる勤務エリア選択制度を運用
多様な人材の活躍支援	取組み状況
正社員登用制度	非正規職員から正職員への登用制度を運用
ベテラン職員の活躍支援	定年後もシニア職員として勤務が可能な制度を運用
専門人材の育成	専門性の高い業務に従事するSPコースと営業職に特化するFCコースを設定
若手職員活躍支援	指導員制度による新入行員指導、企業訪問研修「チャレンジダイバーシティ制度」 公募制の外部出向を通じた育成支援、「キャリア形成サポート面談」による若手のキャリア形成支援
キャリア・リターン制度	結婚、出産、育児、介護等で退職した元職員の再雇用制度を運用
旧姓の継続使用	職員の婚姻等による改姓後も旧姓をビジネスネームとして使用可能に

## ④ 人事戦略、投資

### <ワーク・ライフ・バランス関連指標>

	年次有給休暇取得率（2022年度）	平均残業時間（2022年度／月間）	平均勤続年数（2023年3月末現在）
きらやか銀行	52.6%	7.6時間	男性：21.0年 女性：16.0年
仙台銀行	56.8%	9.3時間	男性：16.0年 女性：9.8年

### <主な表彰・認定実績>

きらやか銀行	やまがた子育て・介護応援いきいき企業「優秀（ダイヤモンド）企業」
	山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰（2015年度）
	均等・両立推進企業部門山形労働局奨励賞（2015年度）
	次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業「プラチナくるみん認定」
	イクボス宣言、やまがたイクボス同盟加盟
仙台銀行	宮城県 女性のチカラを活かす企業認証制度「ゴールド認証企業」
	宮城県いきいき男女にここに子育て応援企業 最優秀企業
	宮城県・宮城労働局 魅力ある職場づくりモデル企業表彰
	次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業「プラチナくるみん認定」
	イクボス宣言、イクボス企業同盟・みやぎイクボス同盟加盟
	みやぎ働き方改革実践企業認証
	厚生労働大臣女性活躍推進法「えるぼし認定」
	仙台市障害者雇用貢献事業者表彰
	ベビーファースト運動参画

### <知的財産への投資>

	主な実施状況
本業支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>きらやかマネジメントスクール（山形大学等と連携、次世代の地域経営者育成）／累計受講者191名（1～6期）</li> <li>仙台銀行ビジネスクラブ次世代経営塾／累計受講者数65名（1～4期）</li> </ul>
外部連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>SBIグループとの連携によるDX等の金融テクノロジーの導入、吸収</li> </ul>

## ⑤ トピックス（きらやか銀行）

### 山形花笠まつりへの参加

- ◆毎年8月に山形市中心部で開催されている「山形花笠まつり」へ参加しました。
- ◆4年ぶりの通常開催となり、地元を盛り上げるため、川越頭取をはじめとした、当行役職員で山形の暑い夏に花を添えました。



### 魅力ある商品の提供

- ◆ネットきらやかさくらんぼ支店へのお預入れ残高が、営業エリア拡大に伴うリニューアルオープンから約70日で100億円を突破いたしました。
- ◆山形県をはじめ全国のお客さまからお申し込みいただける魅力ある商品の提供、サービスの向上に努め、皆さまの資産形成をお手伝いしてまいります。

ネット支店リニューアル後、  
わずか約70日で**100億円突破!**



### 行内コミュニケーションの活性化に向けた取組み

- ◆営業店や本部において職員と頭取の対話を図り、行内コミュニケーションの活性化に取り組んでおります。
- ◆職員の考えや頭取の考えを直接共有することで、一人ひとりが会社について考える機会となりました。



### SBIトレーサビリティ株式会社との業務提携

- ◆正規品証明機能で不正流通を抑止し、ブランドの価値を保護する「トレーサビリティ・サービス」の提供を行うSBIトレーサビリティ株式会社と提携いたしました。
- ◆SBIトレーサビリティ株式会社のノウハウを活用し、第1号となるお客さまとの提携を開始しており、大変ご支持いただいております。今後も新たなビジネス支援を通して地域貢献に努めてまいります。



第1号となったお客さまと担当した  
当行職員がテレビで紹介されました。



## ⑤ トピックス（仙台銀行）

### じもと応援すずめ組 総勢57名が青葉まつりへ参加

- ◆当行のじもと応援すずめ組が第39回「仙台・青葉まつり」に参加しました。
- ◆新型コロナウイルスの5類移行により、4年ぶりに人数制限なく参加することができ、沿道よりたくさんのご声援と拍手をいただきました。
- ◆今後も、地域行事への参加を通じて地域活性化に貢献してまいります。



### リサイクル（再資源化）の実施

- ◆当行では2023年4月に正職員の制服を廃止し、ブレザーやスカートなど約4,200点が防水シートへリサイクルされました。
- ◆今後も持続可能な地域社会の実現に向けた活動に取り組んでまいります。



### 仙台銀行ファミリーデー開催

- ◆2023年8月に、仙台銀行本店で職員家族向け職場見学会を開催しました。
- ◆職員家族38名が参加し、行内見学や窓口体験などを行いました。
- ◆今後も職員のワークライフバランスの実現を図ってまいります。



### 創業70周年記念CMが仙台広告賞を受賞

- ◆当行の創業70周年記念CMが第53回仙台広告賞テレビ部門にて銅賞を受賞しました。
- ◆仙台広告賞は、広告活動の進歩と向上、広告倫理の確立に寄与する広告作品に贈られます。
- ◆授賞式では「70周年を迎える歴史ある銀行でありながら、フレッシュでリアルタイムな空気が満ちている。」との評価をいただきました。



創業70周年記念CM「この街のためにできること」編

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があることにご留意ください。

《当資料に関するお問い合わせ先》

株式会社 じもとホールディングス  
総合企画部

TEL: 022-722-0011 (代表)  
<https://www.jimoto-hd.co.jp>